

第4学年＊組 国語科学習指導案

指導者 西山 大典

1 単元 いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう「ウミガメのはまを守る」

2 目標

環境を守る活動について進んで調べ、自分なりの考えをもち、その考えを文章にまとめようとする。

調べたことをもとに、まとまりを意識しながら、文章を書くことができる。

何がどのように書かれているかに注意して、叙述を正確に読み取ることができる。

自分の考えを述べるための必要な語句を考えることができる。

3 指導にあたって

(1) 単元について

本教材「ウミガメのはまを守る」は、ウミガメの保護に乗り出した経緯、保護の具体的な取り組み、御前崎の人々の願いをまとまりごとに正しく読み取ること重点が置かれている。そのため、文章構成が話題提示、取り組みの説明、御前崎の人々の願いという、序論・本論・結論の分かりやすい構成となっている。また、取り組みの活動が二つに分けられ、取り組みの様子の写真等も提示されており、内容がとらえやすいように工夫をされている。

また、本単元の後半では、パンフレット作りが設定されており、本教材で身に付けた読み取りの力を活用する学習となっている。その中で、環境を守る活動について関心をもち、それらについて書かれた本や文章を読み取る学習へとつなげ、「環境を守るくふう」としてパンフレットで紹介していく。

(2) 児童の実態（在籍＊人）

本学級の児童は、ほぼ全員が50冊読書を達成しているにも関わらず、日頃の学習状況を観察すると、文章を正しく読みとったり、書いたりする力が低いという傾向がある。学力診断テストの結果を見ても、「読むこと」に対する正答率が低く、特に説明的文章においては「文脈に即して内容をとらえる力」「段落相互の関係を読み取る力」が不十分であることが分かる。そこで、段落相互の関係を読み取る力をつけ、内容の中心をとらえていく必要があると考える。

〔学力診断テストの結果より（＊月＊日実施）〕

読むこと（説明的文章）

1 文脈に即して内容を読み取る力

正答 ＊人 誤答 ＊人 無答 ＊人

2 文脈に即して内容をとらえる力

正答 ＊人 誤答 ＊人 無答 ＊人

3 段落相互の関係を読み取る力

正答 ＊人 誤答 ＊人 無答 ＊人

(3) 指導観

本教材は、ウミガメを保護する活動を主に述べているにもかかわらず、「ウミガメのはまを守る」という題名がつけられている。これは、題名に込められた筆者の願いをとらえる読み方を身に付けることに適した教材であると考え。そこで、はじめの通読の段階であえて題名を伏せておくことで、筆者がこの説明文を通してどのような願いを込めてどのような題名をつけたかを予想させ、学習の見通しがもてるようにしたい。次に、形式段落ごとに要点をまとめ、その要点をもとに大きなまとまり（意味段落）にしながら文章構成図を作る活動を通して、内容を大きくとらえて読み取ることができるようにしたい。

そして、この説明文にふさわしい題名について考える活動では、題名に「はま」が必要か否かについて、根拠となる言葉や文、文章をもとに話し合うことを通して、ウミガメを守ることを通して、環境そのものを守っていくことが大切であるという筆者の願いを読み取ることができるようにしていきたい。

4 指導と評価の計画（13時間扱い）

次	時間	学習活動・内容	評価観点	評価規準 おおむね満足できる状況（B）
一	1	全文を通読して，筆者の願いや題名を予想する。	関	筆者の願いについて本文から読み取ったことをまとめたり，発表したりしている。 (ワークシート)
二	2	形式段落に分け，要点をまとめる。	言	中心文を見つけ，キーワードを使って要点をまとめようとしている。 (ワークシート)
	3	要点をもとに意味段落に分け，文章構成図を作る。	言	意味段落ごとに見出しを考え，序論，本論，本論，結論の三つに分けている。 (ワークシート・発表)
	4	ウミガメの保護に乗り出した経緯（序論）について読み取る。	読	ウミガメの保護に乗り出した経緯を読み取っている。 (ワークシート・発表)
	5	保護監視員の保護活動（本論）と経緯との関連について読み取る。	読	保護監視員の保護活動と経緯との関連について読み取っている。 (ワークシート・発表)
	6	御前崎小学校の児童の保護活動（本論）とその理由について読み取る。	読	御前崎小学校の児童の保護活動とその理由について読み取っている。 (ワークシート・発表)
	7	御前崎の人々の願い（結論）を読み取る。	読	御前崎の人々の願いを読み取っている。 (ワークシート)
	8	この説明文にふさわしい題名について考え，題名にこめられた筆者の願いを読み取る。	読	説明文にふさわしい題名について根拠に基づいて考え，筆者の願いを読み取っている。 (発表・ワークシート)
	9	（本時）		
三	10	「環境を守るくふう」について書かれた本を読み，情報を取り出す。	関	環境を守るくふうについて書かれた本を進んで読み，情報を取り出そうとしている。 (情報収集カード)
	11	情報を経緯・説明(活動)まとめ	読	情報を経緯・説明(活動)・まとめ(感想)の順
	12	(感想)の順に読み取ったことをまとめる。	書	に読み取ったことをワークシートにまとめている。 文章の役割を考え，構成を考えてまとめている。 (ワークシート) (パンフレット原稿)
	13	自分の作ったパンフレットを紹介する。	関	自分の作ったパンフレットを相手に紹介しようとしている。 (発表・パンフレット)

5 本時の学習

(1) 目標

題名にこめられた筆者の願いを読み取ることができる。

(2) 準備・資料

ワークシート，短冊黒板

(3) 展開

は評価

配時	学習活動・内容	教師の支援と評価
5	<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この説明文には「ウミガメを守る」と「ウミガメのはまを守る」のどちらの題名がふさわしいのか考え，清水さんが伝えたかったことを読み取ろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に児童が考えた題名をもとに，出てきた言葉から類型化して，同質グループを編成しておく。 ・前時までの学習の流れを振り返るとともに，本時の学習課題を提示することで，学習の進め方や視点，方法について確認する。
10	<p>2 グループごとに分かれて，自分の考えを発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>根拠となる読みの視点 題名につながる言葉 文末表現 最後の段落の要点 など</p> </div> <p>・ぼくは，「ウミガメを守る」の題でよいと思います。わけは，中の部分の保護活動には，ほとんどウミガメやウミガメのたまごを守ることしか書かれていないからです。</p> <p>・わたしは，「ウミガメのはまを守る」の題がいいと思います。それは，すなはまを守るどころの部分には「のです」の強い言い方が使っているため，清水さんのはまを守りたいという気持ちが題名にも込められた方がいいからです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にグループ全員の考えを書いたワークシートもとに話し合いを行うことで，自分の考えに自信がもてるようにする。 ・グループの代表による発表に先立って，それぞれのグループの意見の根拠となる言葉や文，文章を短冊黒板に記入させておく。
20	<p>3 グループでの話し合いをもとに，題名に「はま」があったほうがよいのか，なくてもよいのかについて全体で話し合う。</p> <p>(1) グループで話し合ったことをグループの代表が発表する。</p> <p>(2) 発表を聞いて考える。(隣同士で話し合う。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対立した意見を否定するのではなく，お互いの意見から筆者の願いを考えることで，どちらの題名がよりふさわしいのかを考える話し合いであることを助言しておく。 ・根拠となる言葉や文，文章を記入した短冊黒板を掲示して発表させることで，考えの違いを視覚的にとらえられるようにする。 ・それぞれの根拠となる文の中で，「この説明文で一番言いたいことはどれか」と投げかけることで，この説明文にはどちらの題名がふさわしいかを考えるようにする。

10	<p>(3) 自分の考えに自信をもった人、考えが変わった人の発表を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、「ウミガメのはまを守る」でよいと思っていたけど、みんなの意見を聞いて「ウミガメのはまを守る」の方がやっぱりいいと思いました。なぜなら、はまを守ることはウミガメを守ることにつながるからです。また、御前崎町の人々の願いや、清水さん自身の願いが、はまという環境を守りたい気持ちを題名に込めた方がよいと思ったからです。 ・わたしは、ウミガメを守ってる写真の方が中の部分にほとんどだったので、「ウミガメを守る」の方がふさわしいと思っていたけど、みんなの意見を聞いて、「はま」が題名に必要だと思いました。なぜなら、最後の写真は「はま」を守っているもので終わっていて、それは清水さんの一番言いたかった思いが込められているような感じがするからです。 <p>4 話し合ったことをもとに自分の考えを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えとの共通点や相違点に着目して、自分の考えにつけ足したり、修正したりするよう促す。 ・「ウミガメを守る」に決着しそうな場合には、「『ウミガメを守るためにどんなことをやっているのか』（保護活動）『保護活動とは具体的にどのようなものなのか』」という補助発問を投げかけることで、ウミガメを守ることを通して、環境そのものを守っていくことが大切であるという筆者の願いにせまることができるようにしたい。 ・はじめの考えと話し合った後の考えで、どのように自分の考えが深まったかを意識させるようにする。 <p>説明文にふさわしい題名について根拠に基づいて考え、筆者の願いを読み取っている。 (発表・ワークシート)</p>
----	--	---

6 板書計画

<p>...</p>	<p>根拠となる文</p>	<p>ウミガメのはまを守る</p>
<p>...</p>	<p>根拠となる文</p>	<p>ウミガメを守る</p>

この説明文には「ウミガメを守る」と「ウミガメのはまを守る」のどちらの題名がふさわしいのか考え、清水さんが伝えたかったことを読み取る。